

可茂衛生施設利用組合 新火葬場整備運営事業

審 査 講 評

平成 29 年 1 月 18 日

可茂衛生施設利用組合
新火葬場整備運営事業者選定委員会

可茂衛生施設利用組合新火葬場整備運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、可茂衛生施設利用組合新火葬場整備運営事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（平成 28 年 4 月 5 日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

平成 29 年 1 月 18 日

可茂衛生施設利用組合
新火葬場整備運営事業者選定委員会
委員長 奥野 信宏

目 次

第 1	選定委員会の構成及び開催経過	1
1	選定委員会の構成.....	1
2	選定委員会の開催経過.....	1
第 2	審査の方法	2
1	審査の流れ.....	2
2	審査の内容.....	3
第 3	審査の結果	5
1	資格審査.....	5
2	提案審査.....	5
第 4	審査の講評	11
1	各審査項目の講評.....	11
2	審査の総評.....	15

第1 選定委員会の構成及び開催経過

1 選定委員会の構成

役職	氏名	所属等
委員長	奥野 信宏	中京大学 理事
委員	大野 栄治	名城大学 教授
委員	加藤 幸治	金城学院大学 非常勤講師
委員	渡邊 久登→大畑 英樹	美濃加茂市市民協働部 部長（人事異動により交代）
委員	荘加 淳夫	可児市市民部 部長

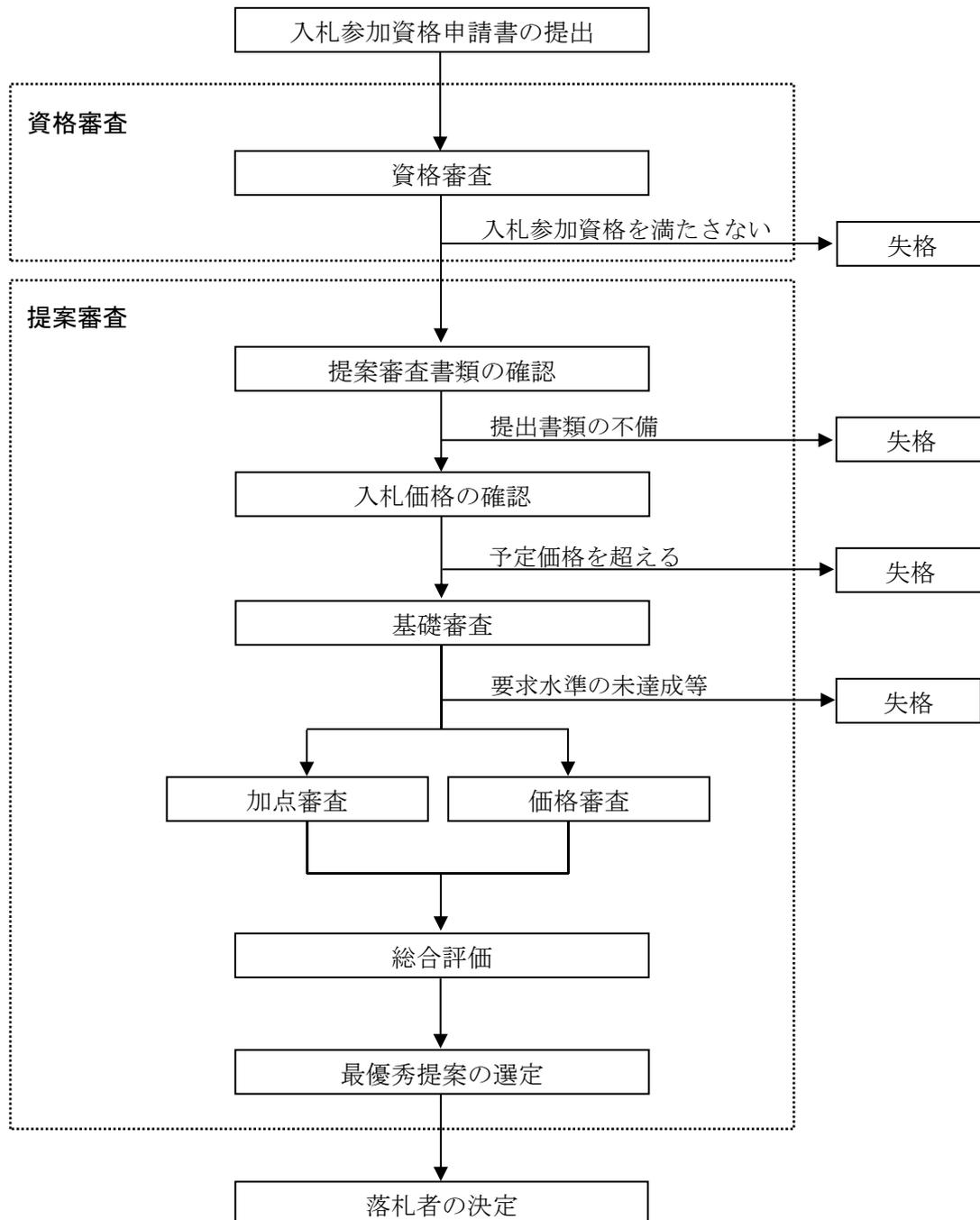
2 選定委員会の開催経過

日程	会議名	主な議題等
平成28年1月14日（木）	第1回選定委員会	委嘱状交付、委員長選出、事業の概要について、審査について
平成28年3月16日（水）	第2回選定委員会	落札者決定基準、評価項目及び配点について
平成28年11月3日（木）	第3回選定委員会	経過報告、基礎審査確認結果、提案内容に関する意見交換について
平成28年11月23日（水）	第4回選定委員会	事業者プレゼンテーション及びヒアリング、提案内容に関する意見交換について
平成28年12月3日（土）	第5回選定委員会	提案内容に関する意見交換、価格審査、総合評価及び最優秀提案の選定について
平成29年1月6日（金）	第6回選定委員会	審査講評について

第2 審査の方法

1 審査の流れ

落札者決定までの審査の流れは、次のフローに示すとおりである。



2 審査の内容

(1) 入札参加資格審査

可茂衛生施設利用組合（以下、「組合」という。）は、入札参加者から提出される入札参加資格審査に関する書類をもとに、入札参加者が満たすべき参加資格要件及び業務遂行能力について確認し、確認の結果を代表企業に対して通知する。入札参加資格を満たさない場合は、失格とする。

(2) 提案審査

ア 入札提案書類の確認

組合は、入札参加者に求めた入札提案に関する提案書類がすべて揃っていることを確認する。提出書類の不備の場合は、失格とする。

イ 入札価格の確認

組合は、入札書に記載された入札価格が予定価格を超えていないことを確認する。入札価格が予定価格を超える場合は、失格とする。

ウ 基礎審査

選定委員会は、提案書類に記載された内容が、基礎審査項目を満たしていることを確認する。提案内容が基礎審査項目について1項目でも満たさない場合は、失格とする。

基礎審査項目は、以下のとおりである。

審査対象	基礎審査項目	対応様式
共通事項	<ul style="list-style-type: none">・提案書全体について、同一事項に対する2とおり以上の提案または提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。・提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。	すべて
入札書	<ul style="list-style-type: none">・入札書に記載された金額（入札価格）が、予定価格を超えていないこと。	様式 5-1
設計図書	<ul style="list-style-type: none">・各様式に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。	様式 6～6-13
設計・建設業務に関する提案書		様式 7～7-13
維持管理・運営業務に関する提案書		様式 8～8-12
事業計画に関する提案書	<ul style="list-style-type: none">・各様式に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。・リスク分担に関し、入札説明書等で示したリスクの分担方針との齟齬がないこと。	様式 9～9-7

エ 加点審査

選定委員会は、入札参加者から提出された提案書類の各様式に記載された内容について審査を行い、審査項目ごとに得点を付与する。得点の計算については、次に示す4段階評価に基づき各選定委員が個別に評価を行い、その平均値を得点として付与する。

【評価項目の採点基準】

評価	判断基準	得点化方法
A	特に秀でて優れている	各項目の配点×1.00
B	秀でて優れている	各項目の配点×0.75
C	優れている	各項目の配点×0.50
D	やや優れている	各項目の配点×0.25

オ 価格審査

選定委員会は、入札参加者の入札価格が、組合の示す予定価格の範囲内であることを確認したもののについて、次の方法により得点を付与する。

(算定式)

$$\text{提案価格の得点} = \left(\frac{\text{最も低い提案価格}}{\text{応募者の提案価格}} \right) \times 30 \text{ 点}$$

- ・ 入札参加者の中で、最も低い入札価格となった提案に対し、価格に関する配点の満点を付与する。
- ・ 他の入札参加者の提案については、最も低い入札価格との比率により算出する。
なお、得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

カ 総合評価及び最優秀提案の選定

選定委員会は、加点審査及び価格審査における総合評価値の最も高い提案を最優秀提案として選定する。ただし、総合評価による得点の最も高い提案が同点で複数ある場合には、くじにより選定する。

第3 審査の結果

1 資格審査

平成 28 年 5 月 31 日において提出された参加表明書及び参加資格審査申請書等の書類をもとに、入札参加者が満たすべき参加資格要件及び業務遂行能力について確認し、平成 28 年 6 月 10 日付で参加資格審査結果（参加資格があるものと認めたもの）を各グループの代表企業に通知した。また合わせて、参加表明のあった全グループが参加資格審査を通過した旨を、組合から各事業者
に通知した。

なお、参加資格審査結果の通知時に、受付番号等として「山百合グループ」、「姫百合グループ」を各グループに付与した。

<参加グループ一覧>

入札参加者	参加区分	企業名	役割
山百合グループ	代表企業	大日本土木株式会社	建設企業
	構成員 (代表企業 を除く)	小池土木株式会社 株式会社宮本工業所 株式会社三和サービス 株式会社五輪	建設企業 火葬炉企業 維持管理企業 運営企業／火葬炉運転企業
	協力企業	株式会社石本建築事務所 名古屋支所	設計企業／工事監理企業
姫百合グループ	代表企業	徳倉建設株式会社 岐阜営業所	建設企業／維持管理企業
	構成員 (代表企業 を除く)	株式会社内藤建築事務所 名古屋支所 株式会社技研オガワ 青協建設株式会社 太陽築炉株式会社 太陽アーモ株式会社 株式会社社長大 岐阜営業所 株式会社岐阜エコー	設計企業／工事監理企業 設計企業 建設企業 火葬炉企業 運営企業／火葬炉運転企業 その他企業 その他企業

2 提案審査

(1) 入札提案書類の確認

組合は、平成 28 年 9 月 14 日に提案書類の受付を行い、入札参加者に求めた提案書類がすべて揃っていることを確認した。

(2) 基礎審査

ア 提案価格の確認

組合は、平成 28 年 9 月 14 日に各グループから提出された入札書に記載された金額（入札金額）が、予定価格を越えていないことを確認した。

イ 提案書類の確認

組合は、各グループから提出された提案書類が、入札説明書等に記載する全ての基礎審査項目を満たしていることを確認した。

以上から、入札参加者 2 グループとも要件を満たすことを確認し、基礎審査を合格とした。

(3) 加点審査・価格審査

ア 加点審査

加点項目審査を行う上で、事業者の提出した提案書の記載内容を明確にするために、入札参加者 2 グループに対して提案内容についてのヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）を平成 28 年 11 月 23 日に実施した。

その後、選定委員会にて十分な議論を行ったうえで、落札者決定基準に基づき各委員が 4 段階評価を行い、その平均値を得点として付与した。

加点項目審査の結果は次の表に示すとおりである。なお、各グループの提案について選定委員会が評価した事項は第 4 の 1 に示す。

□加点審査結果

審査項目		配点	山百合 グループ	姫百合 グループ
1	設計・建設に関する事項	31点	23.75点	23.00点
	(1) 配置計画、動線及び外構計画	6点	5.00点	3.90点
	(2) 施設整備計画	9点	6.05点	7.15点
	(3) 火葬炉設備計画	6点	4.60点	4.50点
	(4) 運営支援設備計画	2点	1.60点	1.60点
	(5) 環境への配慮	2点	1.40点	1.80点
	(6) 防災計画	3点	2.55点	1.80点
	(7) 施工計画	3点	2.55点	2.25点
2	維持管理・運営業務に関する事項	26点	19.20点	17.70点
	(1) 維持管理体制	2点	1.30点	1.30点
	(2) 維持管理計画	9点	6.75点	6.10点
	(3) 運営体制	4点	3.00点	3.20点
	(4) 運営計画	11点	8.15点	7.10点
3	事業計画に関する事項	13点	9.65点	8.55点
	(1) 基本方針等	4点	2.40点	2.40点
	(2) 長期収支の安定性	2点	1.40点	1.25点
	(3) リスク管理	3点	2.25点	2.10点
	(4) 地域や社会への貢献	4点	3.60点	2.80点
合計（加点審査点）		70.00点	52.60点	49.25点

口加点審査結果

審査項目		配点	山百合 グループ	姫百合 グループ
1 設計・建設に関する事項		31 点	23.75 点	23.00 点
(1) 配置計画、動線及び外溝計画 (6 点)	ア 施設配置計画、外構計画、外観	4 点	3.60 点	2.40 点
	イ 外部動線計画	2 点	1.40 点	1.50 点
(2) 施設整備計画 (9 点)	ア ゾーニング計画、内部動線計画・ユニバーサルデザイン	5 点	3.25 点	4.25 点
	イ 厳肅性、快適性、機能性	2 点	1.40 点	1.50 点
	ウ 施設及び設備のメンテナンス性	2 点	1.40 点	1.40 点
(3) 火葬炉設備計画 (6 点)	ア 火葬炉の性能	2 点	1.60 点	1.50 点
	イ 運転操作性、維持管理性、更新性等	2 点	1.40 点	1.40 点
	ウ 安全対策、非常時の対応	2 点	1.60 点	1.60 点
(4) 運営支援設備計画 (2 点)	ア システムの性能	2 点	1.60 点	1.60 点
(5) 環境への配慮 (2 点)	ア 省エネルギー、環境負荷低減	2 点	1.40 点	1.80 点
(6) 防災計画 (3 点)	ア 災害時に対応可能な施設	3 点	2.55 点	1.80 点
(7) 施工計画 (3 点)	ア 施工計画、施工方法、工事中の配慮事項等	3 点	2.55 点	2.25 点
2 維持管理・運営業務に関する事項		26 点	19.20 点	17.70 点
(1) 維持管理体制 (2 点)	ア 実施体制、人員配置等	2 点	1.30 点	1.30 点
(2) 維持管理計画 (9 点)	ア 個別業務 (火葬炉以外) の提案	4 点	3.00 点	2.60 点
	イ 火葬炉の維持管理計画	2 点	1.50 点	1.40 点
	ウ 施設の長寿命化、大規模修繕、長期の修繕計画や引渡し方法	3 点	2.25 点	2.10 点
(3) 運営体制 (4 点)	ア 実施体制、人員配置等	4 点	3.00 点	3.20 点
(4) 運営計画 (11 点)	ア 個別業務の提案	4 点	3.00 点	3.00 点
	イ ミス・トラブルの未然防止策やセルフモニタリングの提案	4 点	2.60 点	2.60 点
	ウ 光熱水費や使用燃料の節約方法の提案	3 点	2.55 点	1.50 点

審査項目		配点	山百合 グループ	姫百合 グループ
3 事業計画に関する事項		13 点	9.65 点	8.55 点
(1) 基本方針等 (4 点)	ア 基本方針、実施体制等	4 点	2.40 点	2.40 点
(2) 長期収支の安定性 (2 点)	ア 資金調達計画・長期収支計画	1 点	0.70 点	0.65 点
	イ 財務の健全性・安定性	1 点	0.70 点	0.60 点
(3) リスク管理 (3 点)	ア リスク管理 (方針・体制、潜在的リスクへの対応等)、保険の付保等	3 点	2.25 点	2.10 点
(4) 地域や社会への貢献 (4 点)	ア 地域経済・地域コミュニティへの貢献	4 点	3.60 点	2.80 点
合計 (加点審査点)		70.00 点	52.60 点	49.25 点

イ 価格審査

応募者2グループの入札価格について、落札者決定基準に示す算出方法に基づき入札価格審査点を下記のとおり算出した。

□価格審査結果

	山百合グループ	姫百合グループ
入札金額	5,128,390,007 円	5,320,555,723 円
計算式	(5,128,390,007 / 5,128,390,007) ×30 点	(5,128,390,007 / 5,320,555,723) ×30 点
価格審査点	30.00 点	28.92 点

(4) 総合評価及び最優秀提案の選定

加点審査点に価格審査点を加算し、総合評価点とした。

$$\text{総合評価点} = \text{加点審査点} + \text{価格審査点}$$

□総合評価結果

	山百合グループ	姫百合グループ
加点審査点	52.60 点	49.25 点
価格審査点	30.00 点	28.92 点
総合評価点	82.60 点	78.17 点

以上により、総合評価点が最も高い山百合グループの提案を最優秀提案として選定。よって、山百合グループが、最優秀提案者となった。

第4 審査の講評

1 各審査項目の講評

(1) 設計・建設業務に関する事項

審査項目	審査講評
(1) 配置計画、動線及び外構計画 (6点)	
ア 施設配置計画、外構計画、外観 (4点)	<p>両グループともに、配置計画・外構計画・外観について、具体的かつ詳細な工夫をこらした独創的な提案が示されていた。</p> <p>この中で、山百合グループの現地形を活かした造成計画や残土対策、西北西の風対策や建物の配置計画などの優れた提案を特に高く評価した。姫百合グループにも北風対策などの提案は示されていた。</p> <p>外観については、和風、洋風を基調としたデザインが対照的であり、これに関しては双方ともに評価され差はなかった。</p>
イ 外部動線計画 (2点)	<p>両グループともに、外部動線計画について、独自の工夫された提案が示されていた。これらについて両グループとも高く評価した。</p> <p>特に、姫百合グループの動線計画の明確さには優れた提案があった。</p>
(2) 施設整備計画 (9点)	
ア ゾーニング計画、内部動線計画・ユニバーサルデザイン (5点)	<p>両グループともに、建物内部のゾーニング・動線計画やユニバーサルデザインについて、それぞれ工夫された提案が示されていた。これらについて、両グループとも高く評価した。</p> <p>特に、姫百合グループは平面計画において、斬新かつユニークなゾーニング・動線計画に優れた提案があった。</p> <p>ユニバーサルデザインについては、両グループともに評価した。</p>
イ 厳粛性、快適性、機能性 (2点)	<p>両グループともに、施設内の厳粛性、快適性、機能性について、空間構成や内装・仕上、眺望への配慮、設備や備品の機能の観点から、詳細に工夫された提案が示されていた。これらについて、両グループとも高く評価した。</p>
ウ 施設及び設備のメンテナンス性 (2点)	<p>両グループともに、施設及び設備のメンテナンス性について、具体的かつ詳細な部分にわたる提案が示されていた。両グループとも、それぞれに工夫をこらした独創的な提案があり、これらについて、高く評価した。</p>

審査項目	審査講評
(3) 火葬炉設備計画 (6点)	
ア 火葬炉の性能 (2点)	両グループともに、火葬炉の性能に関して、主燃焼炉・再燃焼炉の滞留時間や温度・効率について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて、両グループともに高く評価した。 特に、山百合グループの排気方式に関して優れた提案があった。
イ 運転操作性、維持管理性、更新性等 (2点)	両グループともに、火葬炉の運転操作、維持管理、更新等について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて、両グループともに高く評価した。
ウ 安全対策、非常時の対応 (2点)	両グループともに、火葬炉の安全対策や非常時の対応について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて、両グループともに高く評価した。
(4) 運営支援設備計画 (2点)	
ア システムの性能 (2点)	両グループともに、運営支援設備のシステム等について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて、両グループともに高く評価した。
(5) 環境への配慮 (2点)	
ア 省エネルギー、環境負荷軽減 (2点)	両グループともに、環境への配慮として、多方面にわたる独創的な提案が示されていた。これらについて、姫百合グループは特に環境負担低減の目標の設定や具体的な対応策等について優れた提案があり、特に高く評価した。
(6) 防災計画 (3点)	
ア 災害時に対応可能な施設 (3点)	両グループともに、施設の災害時の対応について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて、山百合グループは自家発電能力やその実効性・体制に関する優れた詳細な提案があり、高く評価した。
(7) 施工計画 (3点)	
ア 施工計画、施工方法、工事中の配慮事項等 (3点)	両グループともに、施工計画・施工方法や工事中の配慮について、多方面からの工夫された提案が示されていた。これらについて、両グループともに高く評価したが、山百合グループの駐車場整備に関する優れた提案があった。

(2) 維持管理・運營業務に関する事項

審査項目	審査講評
(1) 維持管理体制 (2点)	
ア 実施体制、人員配置等	両グループともに、基本方針、配置人数や責任者等の実施体制、資格や経験を有する人材の配置について、具体的な提案が

審査項目	審査講評
(2点)	示されていた。これらについて、両グループともに、高く評価した。
(2) 維持管理計画 (9点)	
ア 個別業務（火葬炉以外）の提案 (4点)	両グループともに、個別業務の内容（項目、頻度、水準等）について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。山百合グループの警備業務やモニタリング体制等を高く評価した。姫百合グループのモニタリング体制を高く評価した。
イ 火葬炉の維持管理計画 (2点)	両グループともに、良好な施設水準を保つための維持管理計画や、異常時の排ガス対応、排ガス類の目標設定等、具体的な提案があった。これらについて、両グループとも高く評価したが、特に山百合グループの排ガス対応や目標設定については優れた提案があった。
ウ 施設の長寿命化、大規模修繕、長期の修繕計画や引渡し方法 (3点)	両グループともに、予防保全等に基づいた修繕計画、長期修繕計画、事業終了時の引渡しや引継ぎについて、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて両グループともに高く評価した。
(3) 運営体制 (4点)	
ア 実施体制、人員配置等 (4点)	両グループともに、運營業務に携わる人材確保、火葬炉集中時の勤務体制、非常時の対応等について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて両グループともに高く評価した。
(4) 運営計画 (11点)	
ア 個別業務の提案 (4点)	両グループともに、個別の運營業務について、具体的かつ詳細な提案が示された。これらについて、両グループともに高く評価した。
イ ミス・トラブルの未然防止策やセルフモニタリングの提案 (4点)	両グループともに、ミス・トラブルの未然防止策やセルフモニタリングについて、具体的な提案が示された。両グループともに高く評価した。
ウ 光熱水費や使用燃料の節約方法の提案 (3点)	両グループともに、光熱水費の節約について、具体的な提案が示された。山百合グループについては、削減方法の工夫とともに使用量と金額に優れた提案があり、高く評価した。姫百合グループについては、削減率や使用量・金額についての提案があり評価した。

(3) 事業計画に関する事項

審査項目	審査講評
(1) 基本方針等 (4点)	
ア 基本方針、実施体制等 (4点)	両グループともに、基本方針や構成員・協力企業の役割・関係性について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。両グループともに、高く評価した。
(2) 長期収支の安定性 (2点)	
ア 資金調達計画・長期収支計画 (1点)	両グループともに、資金調達及び長期収支計画について、具体的かつ安定的な提案が示されていた。これらについて、両グループともに高く評価したが、特に山百合グループは出資計画に優れた提案があった。
イ 財務の健全性・安定性 (1点)	両グループともに、具体的な提案が示されていた。これらについて両グループとも高く評価したが、特に山百合グループは資金不足時の対応について優れた提案があった。
(3) リスク管理 (3点)	
ア リスク管理 (方針・体制、潜在的リスクへの対応等)、保険の付保等 (3点)	両グループともに、リスク管理に関する方針、体制、リスク対応や保険の付保について、具体的かつ詳細な提案が示されていた。これらについて両グループともに高く評価した。
(4) 地域や社会への貢献 (4点)	
ア 地域経済・地域コミュニティへの貢献 (4点)	両グループともに、地域経済・地域コミュニティへの貢献について、具体的かつ積極的な提案が示されていた。この中で、山百合グループについては、地元企業の連携・参加、地元雇用、地元発注額についての優れた提案があり、特に高く評価した。

2 審査の総評

本事業は、民間事業者が設計・建設及び維持管理・運営を一括かつ長期的に実施し、その創意工夫を活用することで財政負担の縮減及び公共サービスの水準の向上等を図るとともに、本事業を実施することによる地元経済への貢献について期待されることから、PFI方式での実施となった。

今回、複数の企業から関心が寄せられた中で、最終的に2グループから応募があった。いずれのグループの提案も、これまでの各企業の実績をもとにした独自のノウハウや技術が盛り込まれており、組合の要求水準を大きく上回る提案内容が示されていた。提案書類の作成における努力に対して敬意を表するとともに、深く感謝申し上げたい。

選定委員会では、落札者決定基準に則り、各審査項目について厳正かつ公正に審査を行った。審査の結果、大日本土木株式会社を代表企業とする大日本土木グループ（山百合グループ）を最優秀提案者として選定した。当該グループは、「設計・建設業務」「維持管理・運營業務」「事業計画」全てに関する分野で、高い得点を得た。

今後、大日本土木グループは、組合と事業契約を締結するための協議を行うこととなるが、組合の要求事項のみならず、提案された内容を確実に履行することが求められる。そのうえで、本事業をさらに充実したものとし、事業期間にわたって、安定的な施設の稼働や良質なサービスの提供ができるように、大日本土木グループに対しては次の事項に留意して事業を実施されることを望みたい。

- ・ 故人との最後のお別れをする場としてふさわしい施設とするため、利用者の快適性・機能性・利便性・安全性等に十分配慮すること
- ・ 岐阜県や美濃加茂市との開発協議や、組合が実施するモニタリングに関して、グループ全体として積極的な支援を行うこと
- ・ 提案の中で高く評価された「光熱水費や使用燃料の節約方法の提案」「地域経済・地域コミュニティへの貢献」等に関して、提案に基づいて確実に実施すること
- ・ 提案で示された「地域一体型の火葬場」を目指し、葬祭業者等との連携を図る一方で、新たな施設の維持管理や運営に関して、これら葬祭業者等を積極的にリードして、業務展開を行うこと
- ・ 建設期間中の工事関係業務や供用開始後の維持管理・運營業務に関し、地域や住民との良好な関係を構築・維持しながら、利用者への良好なサービス提供を図ること